

会員同士の つながりを深め 宮城県の産業基盤強化に つとめます。

(社)みやぎ工業会 会長
東京エレクトロン宮城 (株)
取締役会長

たけぶち ひろき
竹 洩 裕 樹 氏

プロフィール

昭和29年5月18日生まれ。群馬県出身。
東京都立大学理学部を卒業後、昭和53年東京エレクトロン(株)に入社。東京エレクトロンAT(株)代表取締役社長、東京エレクトロン(株)常務執行役員経営戦略室長等を歴任し、平成22年7月に東京エレクトロン宮城(株)取締役会長に就任。みやぎ工業会では、副会長を経て今年6月会長に就任した。「般若心経に心無罣礙という一節があるのですが、これは“とらわれない心”。何事にもとらわれずに自由に生きる…なかなかいい言葉だと思いますね」と話す。



現場訪問を通して 意見・要望の聞き取り

「会長に就任された経緯をお聞かせいただけますか。」

「私自身、宮城にまいりましたのが2年前で、昨年6月より副会長職についておりました。会員企業のことをあまり詳しく存じ上げないままに、かねてより川田前会長から次期会長にとご指名をいただいておりますので、謹んでお引き受けした次第です。現在は会員企業と宮城県の現状を勉強している最中であるというのが正直なところで

す。
このような状況ですが、会長に任命されてからは「皆さんが工業会に求めていることは、直接お聞きするしかない」と思いまして、時間をつくっては現場訪問をさせていただき、工業会に対するご意見やご要望などを伺っているところです。

「どのような組織運営を目標にされているのでしょうか。」

「みやぎ工業会は今年、創設して26年目になりますが、これまでは一部会員企業のサポートで運営を成り立たせてきたような経緯がありました。しかし、それでは会としての自主性、自立性が養われない。これまでも最大の課題として議論されてきたことでもありますので、これからは「自立した工業会」をつくっていくことを目標にしてきた

いと考えております。

「また、工業会では通常総会を毎年開催しておりますが、中には参加しづらいと感じている方もいらっしゃるのでは、もっと積極的に行事や総会に参加していただけるような雰囲気づくりも必要だと感じています。「会員で良かった」と思えるような、魅力のあるみやぎ工業会にしていくことが大切であると思っています。「自立した魅力のある組織を目指す」というのが、私のミッションであると認識しています。」

魅力ある工業会をめざして

「震災後にサポートを受けた企業の中には、改めて「工業会の会員で良かった」と思われた方も多いのではないのでしょうか。」

「会員企業の約1割が沿岸部に立地しており相当なダメージを受けました。我々工業会としても特別チームを編成して被災企業をサポートし、現在はずべての企業が事業を再開しています。今回の有事がきっかけとなり、個々の会員企業のことを詳しく知ったという方々も少なくありませんし、被災された企業も工業会の存在を強く意識したのは確かです。お互いがつながり始めたのではないかとも思います。」

「つながるといふ意味では、震災後から横浜市工業会連合会(以下、横浜市工連)との交流が始まっています。工



今後の提携のあり方について話し合う横浜市工連との会議で挨拶をする竹淵会長

業会のような組織は全国にあるのですが、特に沿岸部の会員が多い横浜市工連からは義援金をはじめ、様々なサポートを受けました。この夏には私たちから出向き、横浜市工連と今後の提携のあり方について話し合う会議の場を設けることができました。このような交流を広げてネットワークを構築できれば、日本全体で震災時の対応をはじめ、海外戦略など様々な課題についての情報交換が可能になります。会員企業の発展に工業会が何らかのかたちで寄与してこそ、会の存在意義がある

と思っっています。

進出企業の立場で考える 「グループづくり」という体制づくり

一次に、地元企業との連携について、企業のリーダーとしてのお考えをお聞きかせただけですか。

以前から松島に事業所を構えていますので、多少なりとも宮城の環境は見えていたつもりでした。しかし、本社工場移転後、改めてものづくりの企業がたくさんあり、弊社に親和性の高い業種、たとえば機械加工や電子機器関係の企業が多いことに驚きました。その中には高い技術力をお持ちの企業もいらっしゃるのですが、一企業がつくる単独の製品では、弊社としては連携しづらいところがあるのです。

と申しますのも、弊社は半導体製造装置の開発・設計から製造までを担っているわけですが、私たちが必要としているのは一個の部品ではなく、A社、B社、C社の部品を組み合わせたユニットなのです。ものづくりの企業が集まったグループのようなものが、宮城にはあまりないという現状があるように感じます。要望に合った製品をユニットにして納められるような体制ができれば、私どもだけでなく、トヨタさんなどの進出企業との取引実現に大きな弾みがつくのではないのでしょうか。必要なものは、地元で調達するのがコスト面や環境保護の側面からだけでは

く、あらゆる部分でメリットが大きいのですから、地元調達には積極的に取り組むたいと思っっています。興味のある方がいらっしやれば、お声がけいただきたいと思っっています。

また、「学」との連携については、世界で負けないオンリーワンの製品を作る為に、今後ますます重要な戦略と考えております。

東京エレクトロングループとしては、以前より東北大学との連携を行ってまいりましたが、この度、次世代メモリの研究開発というテーマで新たな連携をしていくことになりました。

この分野で東北大学は世界の最先端の研究を行っております。この世界的な技術を宮城から発信することになれば、宮城のPRにもなりますので、産学官、そして地元、それぞれにメリットがあるような連携を今後も進めたいと思っっています。

【概要】 社団法人みやぎ工業会

設立：昭和61年9月
代表者名：会長 竹淵 裕樹
(東京エレクトロン宮城株式会社 取締役会長)
正会員数：356社
設立の目的：県内産業の活性化と発展に寄与することを目指し、会員企業の業績向上に向けて各種事業を展開。
所在地：仙台市泉区明通2丁目2番地
宮城県産業技術総合センター内
TEL.022-777-9891
ホームページ：<http://www2.odn.ne.jp/m-indus/>

当所でも、みやぎ工業会政策委員会等に参加し連携をはかっています。

街

やさしい気持で暮らせるように……。

たくさんの方が集まり、働き、笑い、泣き、そして暮らしてゆく空間、『街』…。そこで人々が明るく、健康に、そして何よりやさしい気持で暮らせるように、快適な都市環境をつくって行かなくては…。私たちはそう考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)